

地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

1. 事業の概要

カーボン・オフセットとは、自らの温室効果ガス(GHG)排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量を把握し、他の場所で実現したGHG排出削減・吸収量等の購入、他の場所でGHG排出削減・吸収を行うプロジェクトや活動の実施等により、その全部又は一部を埋め合わせるという考え方である。本事業では、カーボン・オフセットに関する情報提供、各種ガイドラインの整備、モデル事業等を実施する。また、信頼性の高いクレジットを認証する「オフセット・クレジット(J-VER)制度」を運営する。これらを通じて、信頼性の高いカーボン・オフセットの取組の普及に努める。

2. 事業計画

国内の排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いるクレジットとして認証する「オフセット・クレジット(J-VER)制度」について、J-VERの認証や制度改正、登録簿の管理等の制度運営を行うと共に、本制度の活用を促進するため、全国説明会の開催等を通じた広報やJ-VER認証に係る手続きの効率化を行う。

カーボン・オフセットに関する相談支援や情報提供等を行うカーボン・オフセットフォーラムを、平成20年度に引き続き、設置する。また、日英カーボン・オフセット情報交換協定に基づくワークショップの開催や先駆的な取組を行う国々(米、英、仏、豪等)との情報交換を行う。

カーボン・オフセットについて、地域の特色を活かした取組や国民・事業者への普及効果の高い取組等を創出するための事業を実施する。

3. 施策の効果

カーボン・オフセットの推進は、事業者、国民など幅広い主体による主体的な排出削減対策を促進し、温室効果ガス排出90年比25%削減という中期目標の達成に貢献すると共に、J-VER制度の活用により、国内における排出削減・吸収プロジェクトに資金が還流するため、中山間地域の活性化が図られる。

カーボン・オフセット推進事業

<カーボン・オフセット>

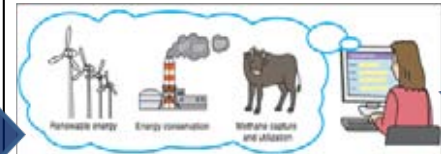
市民・企業等が、自身の温室効果ガスの排出量を認識し、削減努力を行った上で、どうしても削減できない部分を、他の場所の削減・吸収量(クレジット等)で埋め合わせること。



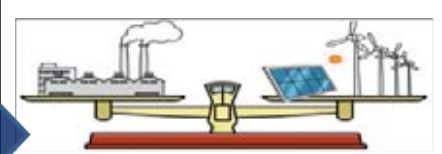
家庭やオフィス、移動(自動車・飛行機)での温室効果ガス排出量を把握する



省エネ活動や環境負荷の少ない交通手段の選択など、温室効果ガスの削減努力を行う



削減が困難な排出量を把握し、他の場所で実現したクレジットの購入または他の場所での排出削減活動を実施



対象となる活動の排出量と同量のクレジットで埋め合わせ(相殺)する

事業概要

適切なカーボン・オフセットの普及

- ・カーボン・オフセットに関する相談支援、セミナーの開催、諸外国との情報交換
- ・各種ガイドライン類の改訂
- ・先進的な取組をモデル事業として支援

信頼性の高いクレジット(J-VER)の創出

- ・オフセット・クレジット(J-VER)制度の運営(J-VER認証、新規プロジェクト種類の承認、登録簿管理、制度改正等)
- ・説明会、研修会等の開催によるJ-VER制度の普及

事業の効果

カーボン・オフセットの普及を通じて温室効果ガス排出90年比25%削減という中期目標に貢献
J-VER制度を活用して、国内の山村地域への民間資金の還流を通じた地域活性化を実現